

日常診療勉強会 感想文

淡路支部ニュース

2016. 3. 25
No. 323

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0051 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
Tel 0799-2210073



淡路支部は2月6日(土)、倉本賢先生(クラモト皮膚科・洲本市)を講師に(上写真)、日常診療勉強会「一般医の日常診療に役立つ皮膚科疾患の知識」を開催、6人が参加した(2月15日付支部ニュースに報道、3月25日付兵庫保険医新聞に講演抄録を掲載)。

次ページに三木隆彦先生の感想文を掲載する。

Let's...

女子サッカー残念だったですね。マスコミの前評判が高かっただけに…やはりキヤプテンの交代(澤さん)が一因。

スポーツ界もう一つの話題がドーピング。ドーピングと言えば支部総会で記念講演いただいた伊藤偵之先生、あいかわらず文字通り世界を股にかけて東奔西走ご活躍の様子(時々ファックス頂戴)。前号のクイズ、テンカイフク(転禍為福)あまり頂けませんでした。天下威服、転回服、添加衣服…難解?ご面倒かけて申し訳ございませんでした。

あいかわらずが今年の天候、寒暖晴雨、2月、3月に夏日があったり(わが家も一日クーラーつけました)、北の吹雪皆様方、体調管理いかがされておられますでしょうか。患者さん、特に高齢者、幼児、虚弱者…

さて、いよいよ診療報酬の改定、電子化で以前ほど大変ではないようですが、カルテ・レセプト手書きの私などは4月1日、2日は昼間は新点数で診療、夜は旧点数と大変です。改定内容はもちろん配布されている所は…これも私はクスリ屋さんが若干比較表持ってきて知っている程度、正確には26日の新点数研究会ですね。よろしくご指導ください。「暑さ寒さも彼岸まで」もう一週間ですね、期末試験、卒業式、一方では大相撲、センバツ、プロ野球も開幕、お子様の入学式、入園式、お忙しい季節。

テレビで気になる?のは茨木市長、大阪市長の件、一部政党の離合集散等々、不勉強の私には何だか周辺がサワサワというところです。昨日のテレビで診療報酬詐欺の女医が流れていましたね。

(3月14日松本記)

(前ページの続き)

豊富な症例写真で日常の皮膚科診療について学ぶ

三木隆彦 (三木内科医院・洲本市)

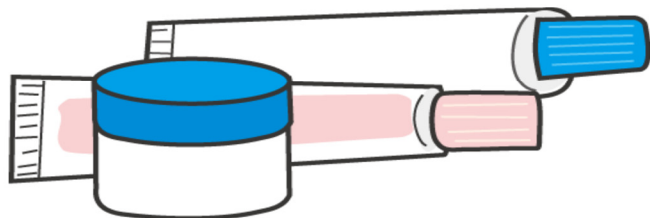
一般医がよく遭遇する皮膚科疾患の基本的な対応方法について、実際の写真を提示して詳しく教えていただきます。

はじめに、皮膚科の診療は視診が非常に大切であり診断の70%は視診で決まることを強調しておられました。

皮膚科薬の選択については次のような解説がありました。外用剤には軟膏、クリーム、ローションがありそれぞれの使い分けが大事であること。軟膏は適応範囲が広く、刺激が少なく、乾燥したところ、湿潤した

ところ(潰瘍、糜爛など)両方に使用できるが、べたつきや見た目が悪いという欠点があること。クリームには親水性と吸水性のものがあり、紅斑や蕁麻疹に使うが、刺激性があり、糜爛や潰瘍の部位には使用しない方がいいこと。非ステロイド系の外用剤は感作の問題であり勧められないこと。また、疾患ごとの診療についても写真を示しながらご紹介いただきました。白癬症の治療の基礎はKOHを使って顕微鏡で診断することが基本であり、白癬症のように見えても違う病気が

あること。虫刺症には、刺吸性(ハチ、ムカデ、クモ、蚊等)と接触(毒蛾、毛虫等)があり、それぞれの写真を提示し治療方法を紹介されました。褥瘡には発症時期と深達度による分類があり、それぞれに対して治療方法が異なり、外用剤の使い分けについても解説いただきました。



減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれば、悩まずすぐにご連絡を。

お問い合わせは、

(医科) TEL078-393-1803 (歯科) TEL078-393-1809

兵庫県保険医協会まで

新しい患者署名がスタート！ 患者負担増計画にストップを！

政府が次々と計画する患者負担増を阻止しようと、協会が取り組む新しい請願署名。7月までに県内で3万筆を目標に取り組んでいます。淡路支部の目標は1000筆です。達成にぜひご協力をお願いいたします。

署名を集めていただくため、ポケットティッシュや投函箱など、さまざまなグッズも用意しています。

注文はTEL078-393-1807/FAX078-393-1820まで。



兵庫県保険医協会淡路支部「職員接遇研修会」

これだけは押さえない 患者接遇の基本

日 時 4月9日(土) 15時～

会 場 洲本市文化体育館 2階 2C会議室

(洲本市塩屋 1-1-17、☎0799-25-3321)

講 師 松田 幸子 先生

(YOU企画代表、マネジメントコンサルタント)

定 員 先着 80人

参加費 一人 1,000円

医療機関にとって、心身を病む多様な患者さんとの対応がその医療機関のイメージを決めると言っても過言ではありません。また、患者さんが安心して頼ることのできるサービスマインドを持った職員とのコミュニケーションが、受ける医療への信頼を一層高めることにつながります。

今回は、すぐに実行できる接遇の基本的なポイントをはじめ、日常業務で遭遇しやすいミスへの対応法も含めて、わかりやすくお話いただきます。

[お問い合わせは、☎078-393-1803 事務局 山下まで]

【FAX送信】 078-393-1820 保険医協会事務局 山下 宛

保険医協会淡路支部 職員接遇研修会(4/9・土) 参加申込

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____
ご連絡先 TEL _____ ご担当者 _____ 様

氏名	職種	経験年数
		新人 / 年
		新人 / 年
		新人 / 年
		新人 / 年
		新人 / 年